

(2) 令和 6 年度主要事業の報告について

- ① 第 2 次清須市教育大綱
 ② 清須市生涯学習推進計画（中間見直し版）

基本理念「誰もが生涯にわたって学び続けられ、個性を育むまち、きよす」

基本目標 1	市民の自主的な学びを活性化するために	担当
施策の方向	1 生涯学習活動を活性化するために 2 文化芸術活動を活性化するために 3 文化を継承するために 4 スポーツ活動を活性化するため 5 国際交流活動を活性化するために	生涯学習係 文化振興係 スポーツ係

(1) 生涯学習講座

6 月 26 日（水）、第 1 回清須市社会教育委員会（丹羽裕子委員長以下 16 名）を開き、令和 5 年度の生涯学習講座やスポーツ教室等の実績報告を行った。

11 月 5 日（火）、第 2 回社会教育委員会では次年度講座方針等について協議を行った。

3 月 5 日（水）、第 3 回社会教育委員会では次年度前期生涯学習講座・スポーツ教室等事業計画について協議を行った。

ア 土曜子ども教室（サタデーキッズクラブ・小学生向け）の受講者数及び定員数

教室名	受講者	定員	教室名	受講者	定員
清須キッズアートラボ	10 名	10 名	山車にふれよう	21 名	20 名
茶華道	44 名	40 名	LED 教室	18 名	20 名
チャレンジ！お菓子の株式会社	16 名	30 名	和太鼓	48 名	30 名
わくわくサイエンス	19 名	20 名	国際理解	22 名	20 名
ビバ！カーニバル	16 名	20 名	紙芝居の世界を楽しもう！	6 名	20 名
ミニサッカー	34 名	40 名	朝日遺跡探検隊	13 名	20 名
エンジョイ スイミング	30 名	30 名			

イ 生涯学習講座（一般・親子向け）の受講者数及び定員数

講座名	受講者	定員	講座名	受講者	定員
清須アートラボ 大人のためのアートレクチャー	15 名	15 名	麻雀プロによる初心者向け麻雀講座	21 名	24 名
天文開放（4 回）	参加延べ 159 名		スペイン語入門	14 名	20 名
初めて読む古文書講座	31 名	30 名	文化財講座	51 名	40 名

天文教室	11 名	15 名	クリスマスリース作り	24 名	25 名
気象学講座	43 名	40 名	トールペイント講座	10 名	15 名
自分だけの小さな苔森 苔テラリウム作り	25 名	20 名	0 から始める登山教室 (地図読み)	9 名	10 名
くらしの英会話	18 名	20 名			

(2) 家庭教育の支援

ア 家庭教育講座（小学校親子）の受講組数及び定員組数

明るい家庭生活は親子のふれあいが鍵ととらえ、講座を実施した。

講座名	受講者	定員	講座名	受講者	定員
英語であそぼ♪	10 組	10 組	レゴロボット プログラミング講座	10 組	10 組
光と色で遊ぼう！ LED 学習	10 組	10 組	親子で楽しく学ぶ 大事なお金の話	24 組	20 組
家族ではじめる野外 料理とロープワーク	13 組	24 組	親子で楽しく学ぶ 天文教室	20 組	20 組
和菓子をつくってみよう	12 組	12 組			

イ 清須市家庭教育推進連絡協議会

清須市家庭教育推進連絡協議会（令和 6 年度会長 新川小学校 P T A 会長 藤島美香氏）では、2 月の強調月間に合わせ、「家庭の日」の作品（小学校低学年かきかた、高学年書道）を募集した。その中から優秀作品を選び、2 月に清洲市民センターで展示をした。

(3) 文化芸術の振興

2 月 22 日（土）清洲市民センターで行われた「名東ウインドオーケストラ コンサート」では、クラシック曲から歌謡曲まで幅広いジャンルの音楽の演奏で本物の芸術に触れるとともに、楽曲・楽器の解説も交え、楽しみながら音楽に触れる機会を市民に提供することを目的に開催した。参加者は 281 名であった。

(4) 清須市はるひ美術館

ア 展示会事業

㊦ 特別展

展覧会名	出品点数
ぞうのエルマー絵本原画展 いっしょにカラフルパレード	約 170 点

㊧ 企画展

展覧会名等	出品点数
今尾拓真 work with #10（清須市はるひ美術館 空調設備）	—
清須ゆかりの作家 太田三郎 博学多彩の画家として	約 60 点
はるひ絵画公募展アーカイブ 1999－2021 絵描きとともに	23 点

㊨ 収蔵作品展

展覧会名	出品点数
生誕 110 年 岡田徹《標的》シリーズとともに	38 点

㊩ 貸ギャラリー

清須市文化協会所属団体による展覧会などを 12 件開催し、市民の文化活動の支援に寄与することができた。

㊪ その他展示

展覧会名	出品点数
第10回 清須市4中学校美術部展 小さなアーティストたち	337点

市内中学校とはるひ美術館が連携し、地域文化の振興を目指して開催。

イ 教育普及活動

活動名	人数	活動名	人数
清須キッズアートラボ	10名	清須アートラボ	15名
清須アートサポーター	23名	館長アートトーク	延べ379名
博物館実習	6名		

ウ 美術資料等の収集

⑦ 収集方針（購入・寄贈・寄託） 原則として以下の方針に従って収集する。

- ① 当地にゆかりのある作家の美術資料等
- ② 美術史上重要な美術資料等
- ③ 当館の展覧会で取り上げた美術資料等
- ④ 公募展（はるひ絵画トリエンナーレ）において高い評価を得た美術資料等
- ⑤ その他、当館が必要と認めた美術資料等

⑧ 収蔵作品内訳

種別	油彩画	水彩画	日本画	アクリル画	木版画	その他
件数	124	5	41	25	5	35

エ 令和6年度入館者数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
日数（日）	20	27	20	12	25	26	13
人数（人）	2,820	787	505	625	2,276	2,779	1,815
月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
日数（日）	26	21	22	21	22	255	
人数（人）	533	450	459	470	2,376	15,895	

(5) 文化団体の活動

清須市文化協会（富田友一会長）は、令和6年度6部門17部会、66団体、720名が所属し、例年、清須市納涼盆踊り、文化展、芸能発表会、カラオケ発表会、囲碁・将棋大会等、本市の文化に関する各種事業に精力的に取り組んでいる。

(6) 文化財の保護

清須市文化財保護審議会（小出明委員長以下8名）は、「清須市文化財保護条例」に基づいて開催され、令和6年度は3月14日（金）に、令和6年度事業報告及び令和7年度事業計画について審議した。

ア 文化財保護

清須市内の指定文化財は、国重要文化財（考古資料）の朝日遺跡出土品、国指定の貝殻山貝塚、国登録の柴田家住宅主屋、県指定の木造観音菩薩立像、唐絹織紫衣、検見塚や市指定の山車等を含めて35件である。西枇杷島地区の山車の保存・管理、尾張西枇杷島まつりにおける山車の運行は各町内会で行っており、西枇杷島町山車保存会（高木正幸会長）が取りまとめを担っている。山車修理費として、東六軒町に194万5千円を補助するなど、文化財の保護に努めた。

イ 埋蔵文化財の保護

清須市内には弥生時代最大級の集落とされる朝日遺跡や清洲城下町遺跡等が存在し、埋蔵文化財包蔵地が広く分布している。埋蔵文化財包蔵地の周知、有無の確認、発掘にかかる届出の受理、発掘調査等の実施に対応している。令和6年度の実績は、有無照会3件、発掘届出136件、発掘通知12件、発掘調査2件、確認調査3件であった。

ウ 歴史資料展示室

清須市立図書館内の歴史資料展示室では、清須市の通史を紹介するため常設展示及び企画展示を行っている。

⑦ 企画展「清須・美濃路界限と匠ーものづくりアーカイブー」

昭和30～40年代を中心に美濃路の職人たちが使用した道具類や製品を展示し、当時の暮らしや街の様子、ものづくりの原風景を紹介する展示会を4月20日（土）から7月21日（日）まで開催し、4,221人の方が訪れた。

⑧ 企画展「箕浦コレクションの世界Ⅳー中京画壇ー」

（市立図書館大規模改修工事による休室のため中止）

会期 9月から12月

⑨ 企画展「子どもたちの世界ー学び・遊び・育ちー」

昭和から平成初期の子どもたちが、子どものころ親しんだ教科書・教具・おもちゃ類を中心に展示し、当時の子どもたちの遊びやその変遷、暮らしぶりを紹介する展示会を12月14日（土）から3月23日（日）まで開催し、5,400名の方が訪れた。

エ 文化財講座

市を中心に地域の多彩な歴史・文化財をテーマとした講座を全4回開催。定員40名のところ、受講申込者51名を受け入れ、延べ参加者数は180名であった。

オ 文化財講演会

12月7日（土）に清洲市民センターにおいて、特定非営利活動法人古代瀬波の里・文化遺産ネットワーク理事長、赤塚次郎氏を講師に迎え、「記憶遺産「銅鐸埋納」巨大集落朝日遺跡、集落再生と滅亡へのストーリー」という演題で、朝日遺跡で出土した「朝日銅鐸」を手がかりに、これまでの研究成果をもとに朝日遺跡の盛衰の考察に関する内容で開催した。参加者は61名であった。

カ あいち朝日遺跡ミュージアム連携事業

あいち朝日遺跡ミュージアムと連携して、2月2日（日）に、共催事業として、あいち朝日遺跡ミュージアム企画展関連事業の歴史講演会「デザインの時間軸ー安城市亀塚遺跡と赤彩塀櫓」とミニシンポジウム「亀塚遺跡とその周辺ー弥生時代終末期から古墳時代初頭を中心にー」、「櫓からみる弥生時代の終焉と古墳時代の幕開け」を開催した。この他、サタデーキッズクラブや文化財講座等の開催、市広報・ホームページ等での周知を行い、あいち朝日遺跡ミュージアム事業等の周知を図った。

(7) スポーツ・レクリエーション関連団体

ア 清須市体育協会

清須市体育協会（梶浦重幸会長）は、27部会（登録一般会員数1,291名、スポーツ少年団519名）を総括し、アマチュアスポーツの普及振興と市民のスポーツへの関心を高めるため、各種市民大会の開催、各部会への活動助成、全国大会への選手派遣など主要な事業を行い、スポーツを通じた健康増進と明るく豊かなまちづくりに寄与している。

また、市民親睦スポーツ大会（ソフトボール）を開催し、市民の親睦を図った。

イ 清須市レクリエーション協会

清須市レクリエーション協会（渡辺真人会長）は、6クラブ、会員144名により、レクリエーションの普及・振興に関する活動を行っている。常に、会員間の親睦とともに一般参加を歓迎し、どの事業も多数の参加で賑わった。

(8) 市民体育祭等

住民参加の体育祭を実施することで、健康・体力の保持増進に役立てるとともに、市民相互の親睦を深め地域のコミュニケーションを図り、明るいまちづくりの推進を目指し、各地区実行委員会主催により企画、運営が行われた。種目数やその内容をより充実させるため、協議が行われた。各地区とも体育祭当日は好天に恵まれ、予定どおり競技等を行うことができた。

地区名	開催日	会場
西枇杷島地区	10月 6日（日）	西枇杷島小学校及びにしびさわやかプラザ
清洲地区	10月20日（日）	清洲中学校運動場
新川地区	10月20日（日）	新川中学校運動場
春日地区	10月 6日（日）	春日小学校運動場

(9) 清須市スポーツ推進委員会

清須市スポーツ推進委員会（伊澤一夫委員長始め33名）は、体育・スポーツ振興を推進するため、清須ウオークのコースの企画や運営、総合型地域スポーツクラブの運営にも積極的に協力をした。

(10) 生涯スポーツ振興

ア スポーツ講座・教室

市内小学校において、水泳教室、着衣水泳教室の水泳指導を実施した。

また、6月3日から7月26日までの約2カ月間、清須市役所において職場実習生として勤務したバレーボールチーム「ウルフドッグス名古屋」の傳田亮太選手によるバレーボール体験教室を体育協会バレーボール部会部員及びスポーツ推進委員を対象に実施した。その他、夏期休業期間でもあったため、市内中学校のバレーボール部の部活にも参加いただき、第一線で活躍する選手からの直接指導も実施した。

イ B & G 関連事業

B & G 春日海洋クラブ員15名を対象として、海洋性スポーツ、レクリエーションスポーツなどを通して、クラブ員相互の親睦を図り、体力向上に努めた。

ウ スポーツ系生涯学習講座事業

土曜子ども教室（サタデーキッズクラブ）において、ミニサッカー及びエンジョイスイミングを実施した。

エ 総合型地域スポーツクラブ事業

3月末会員数は355名、13種目16教室を開催し、全教室への延べ参加者数は、9,570名であった。

また、市内の小学4年生から6年生を対象に、夏休みボールゲーム教室（バレーボール、バスケットボール）を、8月1日、2日、29日、30日に開催し、34名が参加した。この教室では、バレーボールを「ウルフドックス名古屋」、バスケットボールを「ファイティングイーグルス名古屋」のそれぞれのプロチームに協力いただき実施した。

(11) スペイン関連事業

ヘレス市（スペイン）と友好姉妹都市提携を結んでいることから、スペインに関連する事業を行った。サタデーキッズでは、「国際理解」や「ビバ！カーニバル」を、生涯学習講座では「スペイン語入門」を開催した。また、市立小学校、保育園、幼稚園で行う国際理解授業などを実施した。

(12) 清須市国際交流協会

清須市国際交流協会（河合幹雄会長）は、令和6年度、個人会員209名と法人会員28団体が所属し、例年、食文化講座、国際理解講座、外国料理教室、きよす国際交流まつり等、市民参加による国際交流の進展を図っている。

また、「日本語ひろば」では、主に清須市在住の外国人を対象に、日常生活に必要な日本語教室を開催し、コミュニケーション力の向上に努めた。

(13) 多文化共生

市国際交流協会が行っている「日本語ひろば」の運営状況を会議や聞き取りなどを通して把握したり、県国際交流協会などから国際交流イベントや外国人が日本で生活するため

に必要な情報などの提供があった際には、市国際交流協会の活動や日本語ひろばに参加する外国人に協会から知らせるなど多文化共生の推進を図った。

基本目標 2	誰もが活躍できる社会を実現するために	担当
施策の方向	1 男女共同参画社会を実現するために 2 青少年も活躍できる社会を実現するために	生涯学習係
(1) 男女共同参画推進事業 ア 男女共同参画講演会 10月12日(土)にしび創造センターにおいて、来田享子氏を講師に迎え、「オリンピック・パラリンピックとジェンダー平等」という演題で講演会を開催した。(参加者110名)また、にしび創造センタードレミホールロビーにおいては、男女共同参画に関するパネルを展示し、啓発に努めた。 イ 男女共同参画推進懇話会 男女共同参画推進懇話会(吉田あけみ会長以下10名)では、女性管理職の登用率と職員のワーク・ライフ・バランス、市委員会等の女性登用率や各課の取り組み状況などを洗い出し、男女共同参画の今後の進め方などを協議した。 ウ 第2次清須市男女共同参画プランの推進 性別にとらわれない視点をあらゆる施策に盛り込んだ「第2次清須市男女共同参画プラン」を令和4年3月に策定し、この新たな計画に基づき、性別にかかわらず、あらゆる分野で個性と能力が発揮できる社会の実現に向けた取組を推進した。 (2) 女性団体の活動 清須市女性の会(佐藤あつ子会長:会員数405名)は、4月13日(土)に清洲市民センターで総会を開催し、令和5年度の事業・決算報告及び令和6年度の事業計画、会計予算を承認した。交通安全キャンペーンや女性教室の開講、日本赤十字奉仕団として防災訓練や愛知一斉キャンペーンなどに積極的に参加した。また、各地区では、健康増進を目的として「脳活&エクササイズ教室」を開講するなど、精力的な活動が見られた。 (3) 青少年健全育成事業 ア 青少年健全育成大会 7月10日(水)に清須市保護司協議会と共催で、清洲市民センターにて「第17回清須市青少年健全育成大会」を開催し、青少年の健全育成に関し、新川小学校PTA会長の藤島美香氏が「つながろう!子どもたちの健やかな成長を見守るために一できる人ができる時に持続可能なPTA活動を一」というテーマで意見発表を行った。 その後、三谷宏治氏の「A I なんかには負けないぞ 〜ヒマと貧乏とお手伝い〜」と題した講演を行った。最後に、家庭教育推進協議会委員尾ケ口直美氏による健全育成に努める決議が採択された。(参加者231名) イ 清須市立小学校児童平和推進派遣研修 市内小・中学校において作成した千羽鶴の一部を派遣児童が平和記念公園にある「原爆の子の像」に献納し、その他の千羽鶴は、市立図書館に展示をした。市内小学6年生の平和に関する書道優秀作品を8月の平和月間に併せて清洲市民センターで展示した。 8月5日(月)・6日(火)、市内小学6年生の代表24名を広島に派遣し、平和記念式典に参加した。併せて、原爆ドームや資料館において戦争の悲惨さや原爆被災の恐ろしさを見聞し、平和の大切さ、命の尊さを学んだ。 また、清洲市民センターロビーにおいて原爆等の写真及び令和6年度の平和学習の様子を写真を展示し、過去の平和学習の文集を設置した。		

(4) 二十歳のつどい

1月11日（土）二十歳のつどいを春日公民館で開催した。式典対象者633人中、501人が参加し、盛大に行うことができた。式典は、当日の司会、記念品贈呈、誓いの言葉など、二十歳を迎える青年自らが実行委員として率先して企画・運営を行った。式典終了後には恩師の先生方からお祝いの言葉をいただいたり、アトラクションを行った。

基本目標 3	生涯学習を推進するために	担当												
施策の方向	1 生涯学習関連施設の適切な管理・運営 2 生涯学習を推進する体制の整備 3 行政と市民の共同による生涯学習の推進	生涯学習係 スポーツ係												
(1) 学校・家庭・地域が一体となって地域ぐるみで子どもを育てる取り組み														
ア 清須市地域学校協働本部 令和 4 年度から組織体制を見直した、清須市地域学校協働本部（統括的な地域学校協働推進員の武島敦子氏の他、地域学校協働推進員 25 名）は、各地域の推進員が窓口となつて、地域住民に呼びかけ、学びを支える学習の支援、学びの場を整える図書室環境整備、安全・安心を支える見守り隊など、精力的な活動により学校を支援した。														
イ 家庭教育支援チーム「チームMOMO」 「チームMOMO」（吉田春美代表以下 6 名）は、桃栄小学校を拠点とし、各家庭が抱える子育てに関する悩みの相談に対応し、家庭教育に関する学習機会を設定することにより多くの保護者が参加できる環境を支援した。11 月に開催した「中学生と赤ちゃんのふれあい交流会」では、中学生が乳児を持つお母さんとの交流体験を通して「いのちの大切さ」について学んだ。														
ウ 子育てネットワーク「ふわふわ」 子育てネットワーク「ふわふわ」（野呂千賀子代表以下 10 名）は、「親子ふれあい広場」事業を未就園児親子対象に 6 回行った（西枇杷島地区 1 回 13 組、清洲地区 1 回 10 組、新川地区 1 回 7 組、春日地区 1 回 8 組、リトミック 1 回 16 組、親子バランスボール 1 回 19 組、合計受講組数 73 組）。子育てのヒントや仲間作りなど、子育てを少しでも楽しめるよう親子に寄り添い見守りながら活動した。														
(2) 清須市立図書館 市立図書館は、敷地内にある美術館や公園一体を「緑と憩いの清須市の文化ゾーン」として、「知識・情報を得る場」、「憩いやくつろぎ、交流の場」、「地域文化を育む場」をコンセプトと定め、「利用しやすく・人にやさしく・開放的な施設」づくりを目指している。														
ア 年間利用状況														
<table><tr><td>登録者累計数</td><td>29,178 人</td><td>貸出点数</td><td>276,479 点</td></tr><tr><td>入館者数</td><td>165,408 人</td><td>所蔵資料総数</td><td>170,943 点</td></tr><tr><td>貸出者数</td><td>55,860 人</td><td>開館日数</td><td>283 日</td></tr></table>			登録者累計数	29,178 人	貸出点数	276,479 点	入館者数	165,408 人	所蔵資料総数	170,943 点	貸出者数	55,860 人	開館日数	283 日
登録者累計数	29,178 人	貸出点数	276,479 点											
入館者数	165,408 人	所蔵資料総数	170,943 点											
貸出者数	55,860 人	開館日数	283 日											
イ 図書館活動 図書館では、児童・一般向けなどの企画展示、おはなし会や講座などの自主事業、自治体や企業などと連携事業を行った。														
(3) 清須市子ども会連絡協議会 子ども会連絡協議会（後藤隆之会長）は、小学生会員 2,446 名を中心に各地区において地域社会で集団行動を通して協調性や創造性を養い、豊かな心を育てる活動に取り組んだ。 また、連絡協議会主催による大なわとび大会に加え、令和 6 年度より文化事業イベントを開催した。														
(4) 第 17 回愛知県市町村対抗駅伝競走大会 12 月 7 日（土）、愛・地球博記念公園で「第 17 回愛知県市町村対抗駅伝競走大会」が愛知県内各市町村の交流、市町村合併後の一体化の促進、県民意識の高揚及び県民スポーツの振興を目的として開催され、清須市では 41 名の応募があり、10 回の練習を経て代表選手 16 名を選出し、大会に臨んだ。														

(5) スポーツ施設利用と学校施設開放

ア スポーツ施設の利用状況

施設名	プール	トレーニングルーム	ホール会議室等	その他
アルコ清洲	115,117 人	4,411 人 (プール利用者に含む)	31,624 人	
カルチバ新川	39,662 人	49,239 人	211 回	スタジオ 28,504 人
春日 B & G 体育館			アリーナ 1,213 回	武道場 380 回

イ 学校施設開放（利用回数）

施設別	体育館	柔剣道場	グラウンド	テニスコート	ソフトボール場	夜間照明
西枇杷小	602		300			
古城小	288		275			
清洲小	405		193			
清洲東小	478		184			252
新川小	455		198			
星の宮小	378		215			
桃栄小	432		216			
春日小	488		222			
西枇杷中	87		31			
清洲中	198		48	1,282	260	32
新川中	306	209	62			25
春日中	268		133			
合計	4,385	209	2,077	1,282	260	309

(6) 2024 秋清須ウオーク及び 2025 春清須ウオーク

2024 秋清須ウオークは、11 月 9 日（土）に開催し、187 名が参加した。また、市が新たに建設した五条川防災センターを中心に市の防災拠点を巡るコースを設定し、参加者の方に防災意識の高揚及び啓発を行うとともに、健康づくりを推進した。

3 月 30 日（土）に開催した 2025 春清須ウオークは、463 名の参加があった。清須市の五条川の桜を満喫できるコースを設定し、清須市の魅力あふれるウォーキング大会となった。